

(再評価)

資料2-6-②

平成29年度第3回

関東地方整備局

事業評価監視委員会

利根川  
総合水系環境整備事業  
(鬼怒川環境整備)

平成29年11月27日  
国土交通省 関東地方整備局



## 鬼怒川・小貝川の河川環境整備事業(水辺整備)に関するアンケート調査



平成29年7月

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

謹啓

時下、皆様方におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

国土交通省 下館河川事務所では、鬼怒川・小貝川の治水事業、並びに平成27年9月関東・東北豪雨からの復興を鋭意進めており、皆様からのご理解とご協力に感謝申し上げます。

この度、鬼怒川・小貝川の河川環境整備事業に関する検討のためのアンケート調査を実施することになりました。

河川環境整備事業とは、水と緑のオープンスペースとしての河川空間をより良好なものとしたり、川に親しめる場所の整備を行うことを目的とした事業であり、河川の利用を促進する事業、水質や流量を改善する事業、自然環境を保全・再生する事業があります。

このアンケートは、事業の成果を金額におきかえて評価することを目的として実施するものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本アンケートの目的をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

### ご記入にあたって

- このアンケートは、あなたの世帯の中で主な収入を得ておられている方、またはそれに準じる方（主にその配偶者）がお答え下さい。
- ご記入いただきましたアンケート回答用紙は、同封の返信用封筒に入れ、8月7日（月）までにご投函下さいますようお願いいたします。

### 個人情報の取り扱いについて

- このアンケートは、住民基本台帳から無作為に抽出した、鬼怒川、小貝川周辺にお住まいの世帯にお送りしております。
- ご回答いただいた内容は全て統計的に処理します。また、ご回答いただいた内容は、個人情報保護法に則り取り扱わせていただくとともに、本調査の目的以外に使用することはありません。

### アンケート調査についてのお問い合わせ

本調査についてご不明な点がございましたら、下記担当者までお問い合わせ下さい。

○国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

調査課

TEL 0296-25-2171

HP アドレス [www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/](http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/)

○本アンケート調査は、下記の調査会社に委託して実施しております。

株式会社 建設環境研究所 環境計画部

TEL 03-3988-1836

【お問い合わせ時間】8月14日（月）までの土日祝日を除く平日の9:30～17:00

## 説明資料

# 鬼怒川、小貝川における水辺整備の取り組み

～鬼怒・小貝周遊整備事業、小貝・鬼怒周遊整備事業～

## 説明資料

### 1. 整備箇所

整備箇所は、鬼怒川と小貝川です。  
(およそ、常総市から八千代町、下妻市までの区間)



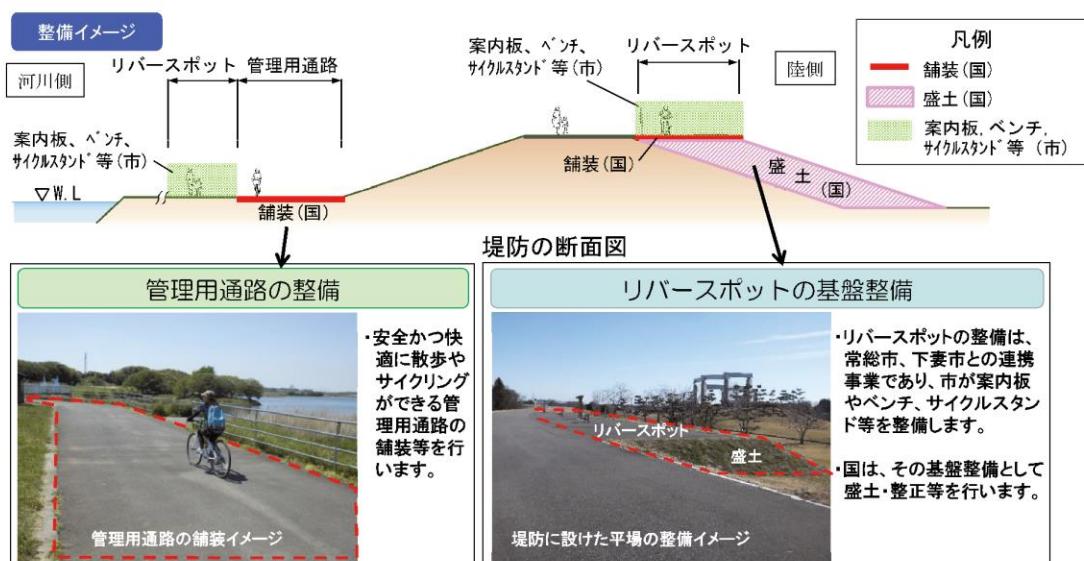
\*リバースポット：良好な景観や、安全に水辺へのアクセス等ができる川の拠点



## 2. 目的と内容

目的：まちと水辺が一体となった、魅力ある水辺空間形成のための基盤を整備します。

内容：管理用通路(舗装)やリバースポットの基盤整備を行います。



2

## 3. 事業の効果

川沿いに、上流から下流まで連続して、安全かつ快適に移動できるようになります。  
川の豊かな自然にふれあい、休息できる憩いの空間が形成されます。



3

『鬼怒川・小貝川水辺整備に関するアンケート回答用紙』  
＜こちらのアンケート回答用紙のみを返信用封筒に入れてお送り下さい＞

- 『鬼怒・小貝周遊整備事業、小貝・鬼怒周遊整備事業』についてお伺いします。 ●

同封の『鬼怒川・小貝川における水辺整備の取り組み』の説明資料をご覧いただき、質問にご回答下さい。

**問1** 説明資料に示した取り組み（管理用通路（散策路）、平場の整備）が計画されていることをご存知でしたか？

あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んで下さい。（単独回答）

- 1) 取り組みが計画されていることを知っていた  
2) 取り組みが計画されていることは知らなかった

**問2** あなたは、現在、この事業の整備箇所にどのくらい訪れていますか？また、整備した後はどのくらい訪れたいと思いますか？（ ）の中に1年間あたりの概ねの回数をお書き下さい。

なお、訪れたことがないまたは、訪れないと思う場合は〇回と書いて下さい。

- 現在（整備前）は 1年間に（ ）くらい訪れている  
■ 整備後は 1年間に（ ）くらい訪れたいと思う

**問3** 問2で「現在（整備前）、1年間に1回以上訪れている」とお答えになった方にお伺いします。どのような目的で訪れましたか？

あてはまるものを全て選び、番号を○で囲んで下さい。（複数回答可）

「10) その他」の場合は、具体的な内容をご記入下さい。

- 1) 散策 2) 犬の散歩 3) ジョギング 4) サイクリング 5) 休憩  
6) 自然観察・環境学習 7) 釣り 8) イベント参加 9) 通勤・通学  
10) その他（ ）

**問4** 今のお住まいから、この事業の水辺整備箇所まで移動する場合の主な交通手段は何ですか？あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んで下さい。（単独回答）  
「5) その他」の場合、（　　）の中に具体的にお書き下さい。

- 1) 徒歩
- 2) 自転車
- 3) 車・バイク
- 4) 電車・バス
- 5) その他 ( )

**問5** あなたは、鬼怒川・小貝川の取り組みについてどのような印象をお持ちですか。  
設問毎にあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

(1) 水辺の親しみやすさ

・現在（整備前）の水辺の親しみやすさは

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) あまり良くない
- 4) 悪い
- 5) 分からない

・取り組みが行われた後の水辺の親しみやすさは

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) あまり良くない
- 4) 悪い
- 5) 分からない

(2) 水辺利用の安全性

・現在（整備前）の水辺利用の安全性は

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) あまり良くない
- 4) 悪い
- 5) 分からない

・取り組みが行われた後の水辺利用の安全性は

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) あまり良くない
- 4) 悪い
- 5) 分からない

(3) 水辺の景観

・現在（整備前）の水辺の景観は

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) あまり良くない
- 4) 悪い
- 5) 分からない

・取り組みが行われた後の水辺の景観は

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) あまり良くない
- 4) 悪い
- 5) 分からない

**【重要】** ここからは、**仮の質問**です。説明文をよくお読みになったうえでお答え下さい。

実際には、このような事業は税金によって実施されていますが、ここでは事業の効果を金額に置きかえて評価するために、事業が税金ではなく、「**仮に各世帯から負担金を集めて行われるような仕組みがあったとしたら**」という状況を想像して下さい。

\*これはあくまでも「**事業の効果を評価・分析する手法上の仮定**」であり、実際にこのような仕組みが考えられているわけではありません。また、この回答により税金の値上げを行うこともありません。

状況A	状況B
<ul style="list-style-type: none"> <li>説明資料で示した事業が実施されず、現状のままであるため、水辺空間の利用環境は改善されません。</li> <li>あなたの世帯の負担金はありません。</li> </ul>  <p>砂利道</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明資料で示した事業が実施され、自転車で移動したり、平場で休憩することができるなど、水辺空間の利用環境が改善されます。</li> <li>あなたの世帯からの負担金が必要です。</li> </ul>  <p>舗装道</p> <p>上流から下流まで連続して周遊可能</p>
<p>砂利道のため、自転車や歩行者が快適に移動できません。</p> 	<p>舗装し、通路をつなげることで、上流から下流まで連続して周遊できるようになります。</p>  <p>休憩スペース</p>
<p>川の豊かな自然にふれあい、感じられる場所は多くありません。</p>	<p>川の豊かな自然にふれあい休憩できるなどの、憩いの空間が形成されます。</p>

**問6** 次の（1）から（8）に、状況Bの負担金の額を具体的に示しますので、あなたやご家族が感じる価値をもとに、状況A（事業実施前）と状況B（事業実施後）のどちらが望ましいと思うかを考え、望ましいと思う方の番号を○で囲んで下さい。なお、負担金はこの地域にお住まいの間、負担していただくこととなり、この分だけあなたの世帯で使うことのできるお金が減るという仮定であることを、じゅうぶん念頭においてお答え下さい。また、負担金は説明資料の事業の実施と維持管理のためにのみ使われ、他の目的にはいっさい使われないものとします。

※記載上の注意：以下の(1)～(8)全ての設問に○を記入して下さい。

(例1) 「世帯あたり毎月300円」までは負担金を支払う場合には、

(1)～(4)の「2)支払う(状況Bがよい)」に○、(5)～(8)の「1)支払わない(状況Aがよい)」に○をつけていただくようお願いします。

(例2) 「世帯あたり毎月3,000円」までは負担金を支払う場合には、

全て「2)支払う(状況Bがよい)」に○をつけていただくようお願いします。

(例3) 「負担金を全く支払わない」と考えた場合には、

全て「1)支払わない(状況Aがよい)」に○をつけていただくようお願いします。

(1) 状況Bの負担金が世帯あたり毎月 **30円** (年間あたり 360 円)

1) 支払わない (状況Aがよい)	2) 支払う (状況Bがよい)
-------------------	-----------------

(2) 状況Bの負担金が世帯あたり毎月 **50円** (年間あたり 600 円)

1) 支払わない (状況Aがよい)	2) 支払う (状況Bがよい)
-------------------	-----------------

(3) 状況Bの負担金が世帯あたり毎月 **100円** (年間あたり 1,200 円)

1) 支払わない (状況Aがよい)	2) 支払う (状況Bがよい)
-------------------	-----------------

(4) 状況Bの負担金が世帯あたり毎月 **300円** (年間あたり 3,600 円)

1) 支払わない (状況Aがよい)	2) 支払う (状況Bがよい)
-------------------	-----------------

(5) 状況Bの負担金が世帯あたり毎月 **500円** (年間あたり 6,000 円)

1) 支払わない (状況Aがよい)	2) 支払う (状況Bがよい)
-------------------	-----------------

(6) 状況Bの負担金が世帯あたり毎月 **1,000円** (年間あたり 12,000 円)

1) 支払わない (状況Aがよい)	2) 支払う (状況Bがよい)
-------------------	-----------------

(7) 状況Bの負担金が世帯あたり毎月 **2,000円** (年間あたり 24,000 円)

1) 支払わない (状況Aがよい)	2) 支払う (状況Bがよい)
-------------------	-----------------

(8) 状況Bの負担金が世帯あたり毎月 **3,000円** (年間あたり 36,000 円)

1) 支払わない (状況Aがよい)	2) 支払う (状況Bがよい)
-------------------	-----------------

**問7** 問6の(1)で「1) 支払わない(状況Aがよい)」とお答えになった方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んで下さい。(単独回答)

「5) その他」の場合、( )の中に具体的にお書き下さい。

- 1) 事業が行なわれる方がよいとは思うが、毎月30円(年間あたり360円)を支払う価値はないと思うから
- 2) たとえ支払いがなくても、この事業を行わない方がよいと思うから
- 3) 世帯から負担金を集めるという仕組みに反対だから
- 4) これだけの情報では判断できないから
- 5) その他 ( )

**問8** 問6の(1)で「2) 支払う(状況Bがよい)」とお答えになった方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるものをいくつでも選び、番号を○で囲んで下さい。「5) その他」の場合、( )の中に具体的にお書き下さい。(複数回答可)

- 1) 鬼怒川・小貝川を散歩やジョギング、サイクリングなどに利用しやすくなるから
- 2) 鬼怒川・小貝川の河川敷や水辺に近づきやすくなるから
- 3) 鬼怒川・小貝川の風景が良くなるから
- 4) 現在は関心がないが、将来いいことがあるかもしれないから
- 5) 他の人や将来の世代にとっていいことだから
- 6) 豊富に水を利用できるようになるから
- 7) 自分や家族にとって価値はないが、他の世帯も支払うのであれば仕方がないから
- 8) その他 ( )

ここまで、**仮の質問**は終わりになります。

**【重要】**繰り返しになりますが、問6～8はあくまでも**仮の質問**であり、この調査の回答結果をもとにあなたの世帯から実際に負担金が徴収されることは決してございません。

**問9** あなたの性別、年齢をお尋ねします。

(1) あなたの性別についてあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

- 1) 男性                  2) 女性

(2) あなたの年齢についてあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

- 1) 10代    2) 20代    3) 30代    4) 40代    5) 50代  
6) 60代    7) 70代以上

(3) あなたのお住まいの郵便番号をご記入下さい。

--	--	--	--	--	--	--	--

※地区毎の回答数を集計するために使用します。

**問10** 今後の河川環境整備事業のあり方や、アンケートの内容や体裁についてのご意見、鬼怒川・小貝川に関して日頃感じていることや思うところがございましたら、ご自由にお書きください。

■本事業について

■鬼怒川、小貝川全体に対して

アンケートは以上です。回答もれがないか、もう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒にアンケート回答用紙を入れ、8月7日（月）までに投函して下さい。

なお、繰り返しになりますが、問6～8はあくまでも**仮の質問**であり、この調査の回答結果をもとにあなたの世帯から実際に負担金が徴収されることは決してございません。

ご回答いただいた内容は全て統計的に処理します。また、ご回答いただいた内容は、個人情報保護法に則り取り扱わせていただくとともに、本調査の目的以外に使用することはありません。

ご協力、ありがとうございました。

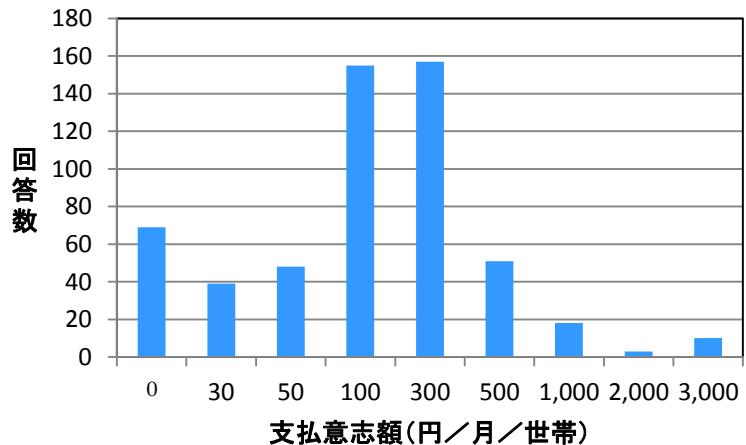
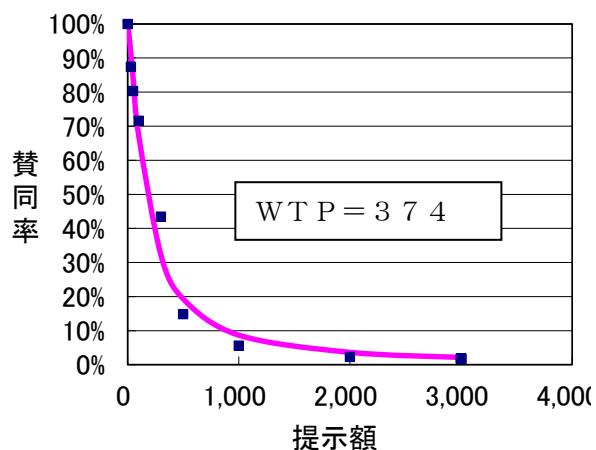
# 鬼怒川環境整備事業（鬼怒川・小貝川かわまちづくり水辺整備） 事業評価 CVM調査結果

## 1. アンケート集計数

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
1,820	852	46.8%	550	30.2%

## 2. WTP算定結果

提示額	賛成	反対
1	550	0
30	481	69
50	442	108
100	394	156
300	239	311
500	82	468
1,000	31	519
2,000	13	537
3,000	10	540



## 3. B/C算定結果

WTP(円)	受益世帯数	B(百万円)	C(百万円)	B/C
374	59,428	5,184(4,910*)	714(676*)	7.3

\*鬼怒川で整備する箇所の数値(Bについては、鬼怒川・小貝川それぞれの総費用で案分した値)

◇Bは残存価値を加算した

$$\begin{aligned} \text{◇年便益} &= \text{WTP} \times 12 \text{ヶ月} \times \text{受益世帯数} \\ &= 374 \times 12 \times 59,428 = 267 \text{ (百万円)} \end{aligned}$$

様式5

鬼怒川・小貝川環境整備事業(かわまち)

水系名：利根川 河川名：鬼怒川・小貝川

(単位:百万円)

年次	t	便益		計 ①+②	費用				費用便益比 B/C	純現在価値 B-C			
		便益①			建設費③		維持管理費④						
		便益	現在価値		費用	現在価値	費用	現在価値					
整備期間	H30	1			59	57			59.5	57.2			
	H31	2	22	20	20	100	92		99.7	92.2			
	H32	3	59	52	52	288	256		287.9	256.0			
	H33	4	165	141	141	248	212		248.1	212.1			
	H34	5	256	210	210	6	5		5.6	4.6			
	H35	6	258	204	204	6	4		5.6	4.4			
	H36	7	260	197	197	19	14		18.5	14.1			
施設完成後の評価期間	H37	8	267	195	195								
	H38	9	267	187	187								
	H39	10	267	180	180								
	H40	11	267	173	173		0.4	0.2	0.4	0.2			
	H41	12	267	167	167		5.5	3.4	5.5	3.4			
	H42	13	267	160	160		21.5	12.9	21.5	12.9			
	H43	14	267	154	154		19.4	11.2	19.4	11.2			
	H44	15	267	148	148								
	H45	16	267	142	142								
	H46	17	267	137	137								
	H47	18	267	132	132								
	H48	19	267	127	127								
	H49	20	267	122	122								
	H50	21	267	117	117		0.4	0.2	0.4	0.2			
	H51	22	267	113	113		5.5	2.3	5.5	2.3			
	H52	23	267	108	108		21.5	8.7	21.5	8.7			
	H53	24	267	104	104		19.4	7.6	19.4	7.6			
	H54	25	267	100	100								
	H55	26	267	96	96								
	H56	27	267	92	92								
	H57	28	267	89	89								
	H58	29	267	86	86								
	H59	30	267	82	82								
	H60	31	267	79	79		0.4	0.1	0.4	0.1			
	H61	32	267	76	76		5.5	1.6	5.5	1.6			
	H62	33	267	73	73		21.5	5.9	21.5	5.9			
	H63	34	267	70	70		19.4	5.1	19.4	5.1			
	H64	35	267	68	68								
	H65	36	267	65	65								
	H66	37	267	62	62								
	H67	38	267	60	60								
	H68	39	267	58	58								
	H69	40	267	56	56								
	H70	41	267	53	53		0.4	0.1	0.4	0.1			
	H71	42	267	51	51		5.5	1.1	5.5	1.1			
	H72	43	267	49	49		21.5	4.0	21.5	4.0			
	H73	44	267	47	47		19.4	3.5	19.4	3.5			
	H74	45	267	46	46								
	H75	46	267	44	44								
	H76	47	267	42	42								
	H77	48	267	41	41								
	H78	49	267	39	39								
	H79	50	267	38	38								
	H80	51	267	36	36		0.4	0.1	0.4	0.1			
	H81	52	267	35	35		5.5	0.7	5.5	0.7			
	H82	53	267	33	33		21.5	2.7	21.5	2.7			
	H83	54	267	32	32		19.4	2.3	19.4	2.3			
	H84	55	267	31	31								
	H85	56	267	30	30								
	H86	57	267	29	5.9	34							
			14,354	5,178	6	5,184	725	640	234	74			
										714			
										7.3			
										4,470			

## 事業費の内訳書

### 河川事業

事業名	鬼怒川環境整備事業 (全体事業費)		
-----	-------------------	--	--

※( )欄に残事業費、全体事業費の別を記入すること。

評価年度	平成29年度	再評価
------	--------	-----

※評価の種類(新規事業採択時評価、再評価、完了後の事後評価)の別を記入すること

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費			式		3,674.9	
	本工事費		式		3,674.9	
		鬼怒川自然再生事業	式	1	1,513.7	魚道改良、礫河原再生
		千代川水辺の楽校整備事業	式	1	370.0	坂路、階段、親水護岸等
		二宮町・鬼怒川水辺プラザ整備事業	式	1	448.2	坂路、親水護岸、散策路等
		きよはら水辺の楽校整備事業	式	1	234.0	坂路、親水護岸、散策路等
		草川環境整備事業	式	1	295.0	坂路、階段、親水護岸等
		鬼怒川・小貝川水辺ツーリズム整備事業	式	1	242.0	坂路、階段、散策路等
		鬼怒川・小貝川かわまちづくり水辺整備事業(鬼怒川)	式	1	572.0	河川管理用通路、リバースポット基盤整備
用地費及補償費			式			
	用地費		式			
	補償費		式			
間接経費			式		1,262.6	
工事諸費			式		785.9	
事業費 計			式		5,723.4	

維持管理費	式			715.0	
-------	---	--	--	-------	--

※1 事業費については、事業の執行状況を踏まえて再評価ごとに適宜見直すこと。

※2 「工種」及び「金額」については、原則、治水経済調査マニュアル(案)に準拠して記載すること。

※3 上記によらないものについては、過去の類似の実績等に基づき記載すること。

※4 備考欄に、一式計上している工種の内容等を記載すること。

## 事業費の内訳書

### 河川事業

事業名	鬼怒川環境整備事業			(残事業費)		
※( )欄に残事業費、全体事業費の別を記入すること。						
評価年度	平成29年度	再評価				
※評価の種類(新規事業採択時評価、再評価、完了後の事後評価)の別を記入すること						
区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費			式		572.0	
	本工事費		式		572.0	
		鬼怒川・小貝川かわまちづくり 水辺整備事業(鬼怒川)	式	1	572.0	河川管理用通路、リ バースポット基盤整備
用地費及補償費			式			
	用地費		式			
	補償費		式			
間接経費			式		90.0	
工事諸費			式		70.0	
事業費 計			式		732.0	
維持管理費			式		248.0	

※1 事業費については、事業の執行状況を踏まえて再評価ごとに適宜見直すこと。

※2 「工種」及び「金額」については、原則、治水経済調査マニュアル(案)に準拠して記載すること。

※3 上記によらないものについては、過去の類似の実績等に基づき記載すること。

※4 備考欄に、一式計上している工種の内容等を記載すること。

全体事業評価(水系全体) (百万円)

	便益	残存価値	総便益	総建設費	総維持管理費	総事業費	費用便益比	備考
	①	②	B(①+②)	③	④	C(③+④)	B/C	
基本	39,368	57	39,424	8,057	305	8,362	4.7	
残事業費+10%	39,368	57	39,425	8,117	305	8,422	4.7	
残事業費-10%	39,368	56	39,424	7,997	305	8,301	4.7	
残工期+10%	39,310	56	39,366	8,048	305	8,353	4.7	
残工期-10%	39,420	57	39,477	8,065	305	8,370	4.7	
便益+10%	43,304	57	43,361	8,057	305	8,362	5.2	
便益-10%	35,431	57	35,487	8,057	305	8,362	4.2	

全体事業評価(自然再生事業) (百万円)

	便益	残存価値	総便益	総建設費	総維持管理費	総事業費	費用便益比	備考
	①	②	B(①+②)	③	④	C(③+④)	B/C	
基本	18,258	20	18,279	4,132	29	4,160	4.4	
残事業費+10%	18,258	20	18,279	4,132	29	4,160	4.4	
残事業費-10%	18,258	20	18,279	4,132	29	4,160	4.4	
残工期+10%	18,258	20	18,279	4,132	29	4,160	4.4	
残工期-10%	18,258	20	18,279	4,132	29	4,160	4.4	
便益+10%	20,084	20	20,104	4,132	29	4,160	4.8	
便益-10%	16,433	20	16,453	4,132	29	4,160	4.0	

全体事業評価(水辺整備事業) (百万円)

	便益	残存価値	総便益	総建設費	総維持管理費	総事業費	費用便益比	備考
	①	②	B(①+②)	③	④	C(③+④)	B/C	
基本	21,109	36	21,145	3,925	276	4,201	5.0	
残事業費+10%	21,109	37	21,146	3,986	276	4,262	5.0	
残事業費-10%	21,109	36	21,145	3,865	276	4,141	5.1	
残工期+10%	21,051	36	21,087	3,916	276	4,192	5.0	
残工期-10%	21,161	37	21,198	3,934	276	4,210	5.0	
便益+10%	23,220	36	23,256	3,925	276	4,201	5.5	
便益-10%	18,998	36	19,035	3,925	276	4,201	4.5	

(百万円)

**残事業評価(水系全体)**

	便益	残存価値	総便益	総建設費	総維持管理費	総事業費	費用便益比	備考
	①	②	B(①+②)	③	④	C(③+④)	B/C	
基本	4,905	6	4,910	604	72	676	7.3	
残事業費+10%	4,905	6	4,911	664	72	737	6.7	
残事業費-10%	4,905	5	4,910	544	72	616	8.0	
残工期+10%	4,847	5	4,852	595	72	667	7.3	
残工期-10%	4,957	6	4,963	613	72	685	7.2	
便益+10%	5,395	6	5,401	604	72	676	8.0	
便益-10%	4,414	6	4,420	604	72	676	6.5	

(百万円)

**残事業評価(水辺整備事業)**

	便益	残存価値	総便益	総建設費	総維持管理費	総事業費	費用便益比	備考
	①	②	B(①+②)	③	④	C(③+④)	B/C	
基本	4,905	6	4,910	604	72	676	7.3	
残事業費+10%	4,905	6	4,911	664	72	737	6.7	
残事業費-10%	4,905	5	4,910	544	72	616	8.0	
残工期+10%	4,847	5	4,852	595	72	667	7.3	
残工期-10%	4,957	6	4,963	613	72	685	7.2	
便益+10%	5,395	6	5,401	604	72	676	8.0	
便益-10%	4,414	6	4,420	604	72	676	6.5	















## 様式5

鬼怒川環境整備事業(全事業)

## 費用対効果 残事業

水系名：利根川 河川名：鬼怒川

(単位:百万円)

年次	t	便益		計 ①+②	費用						費用便益比 B/C	純現在価値 B-C			
		便益①			建設費③		維持管理費④		計 ③+④						
		便益	現在価値		費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値					
	H13	-16													
	H14	-15													
	H15	-14													
	H16	-13													
	H17	-12													
	H18	-11													
	H19	-10													
	H20	-9													
	H21	-8													
	H22	-7													
	H23	-6													
	H24	-5													
	H25	-4													
	H26	-3													
	H27	-2													
	H28	-1													
	H29														
	H30	1				56	54			55.8	53.6				
	H31	2	21	19	19	93	86			93.3	86.2				
	H32	3	55	49	49	280	249			280.4	249.3				
	H33	4	156	133	133	230	197			230.3	196.9				
	H34	5	242	199	199	5	4			4.6	3.8				
	H35	6	244	193	193	5	4			4.6	3.7				
	H36	7	246	187	187	14	11			13.9	10.6				
	H37	8	253	185											
	H38	9	253	177											
	H39	10	253	171											
	H40	11	253	164											
	H41	12	253	158											
	H42	13	253	152											
	H43	14	253	146											
	H44	15	253	140											
	H45	16	253	135											
	H46	17	253	130											
	H47	18	253	125											
	H48	19	253	120											
	H49	20	253	115											
	H50	21	253	111											
	H51	22	253	107											
	H52	23	253	102											
	H53	24	253	99											
	H54	25	253	95											
	H55	26	253	91											
	H56	27	253	88											
	H57	28	253	84											
	H58	29	253	81											
	H59	30	253	78											
	H60	31	253	75											
	H61	32	253	72											
	H62	33	253	69											
	H63	34	253	67											
	H64	35	253	64											
	H65	36	253	62											
	H66	37	253	59											
	H67	38	253	57											
	H68	39	253	55											
	H69	40	253	53											
	H70	41	253	51											
	H71	42	253	49											
	H72	43	253	47											
	H73	44	253	45											
	H74	45	253	43											
	H75	46	253	42											
	H76	47	253	40											
	H77	48	253	38											
	H78	49	253	37											
	H79	50	253	36											
	H80	51	253	34											
	H81	52	253	33											
	H82	53	253	32											
	H83	54	253	30											
	H84	55	253	29											
	H85	56	253	28											
	H86	57	253	27	5.7	33									
			13,596	4,905	6	4,910	683	604	230	72	913	676	7.3		
													4,234		

様式5

鬼怒川環境整備事業(全事業)

## 費用対効果 残事業(残事業費+10%)

水系名：利根川 河川名：鬼怒川

(単位:百万円)

年次	t	便益		計 ①+②	費用						費用便益比 B/C	純現在価値 B-C			
		便益①			建設費③		維持管理費④		計 ③+④						
		便益	現在価値		費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値					
H13	-16														
H14	-15														
H15	-14														
H16	-13														
H17	-12														
H18	-11														
H19	-10														
H20	-9														
H21	-8														
H22	-7														
H23	-6														
H24	-5														
H25	-4														
H26	-3														
H27	-2														
H28	-1														
H29															
H30	1				61	59			61.4	59.0					
H31	2	21	19		19	103	95		102.6	94.8					
H32	3	55	49		49	308	274		308.5	274.2					
H33	4	156	133		133	253	217		253.4	216.6					
H34	5	242	199		199	5	4		5.1	4.2					
H35	6	244	193		193	5	4		5.1	4.0					
H36	7	246	187		187	15	12		15.3	11.6					
H37	8	253	185		185										
H38	9	253	177		177										
H39	10	253	171		171										
H40	11	253	164		164		0.4	0.2	0.4	0.2					
H41	12	253	158		158		5.2	3.2	5.2	3.2					
H42	13	253	152		152		21.2	12.7	21.2	12.7					
H43	14	253	146		146		19.2	11.1	19.2	11.1					
H44	15	253	140		140										
H45	16	253	135		135										
H46	17	253	130		130										
H47	18	253	125		125										
H48	19	253	120		120										
H49	20	253	115		115										
H50	21	253	111		111		0.4	0.2	0.4	0.2					
H51	22	253	107		107		5.2	2.2	5.2	2.2					
H52	23	253	102		102		21.2	8.6	21.2	8.6					
H53	24	253	99		99		19.2	7.5	19.2	7.5					
H54	25	253	95		95										
H55	26	253	91		91										
H56	27	253	88		88										
H57	28	253	84		84										
H58	29	253	81		81										
H59	30	253	78		78										
H60	31	253	75		75		0.4	0.1	0.4	0.1					
H61	32	253	72		72		5.2	1.5	5.2	1.5					
H62	33	253	69		69		21.2	5.8	21.2	5.8					
H63	34	253	67		67		19.2	5.1	19.2	5.1					
H64	35	253	64		64										
H65	36	253	62		62										
H66	37	253	59		59										
H67	38	253	57		57										
H68	39	253	55		55										
H69	40	253	53		53										
H70	41	253	51		51		0.4	0.1	0.4	0.1					
H71	42	253	49		49		5.2	1.0	5.2	1.0					
H72	43	253	47		47		21.2	3.9	21.2	3.9					
H73	44	253	45		45		19.2	3.4	19.2	3.4					
H74	45	253	43		43										
H75	46	253	42		42										
H76	47	253	40		40										
H77	48	253	38		38										
H78	49	253	37		37										
H79	50	253	36		36										
H80	51	253	34		34		0.4	0.1	0.4	0.1					
H81	52	253	33		33		5.2	0.7	5.2	0.7					
H82	53	253	32		32		21.2	2.7	21.2	2.7					
H83	54	253	30		30		19.2	2.3	19.2	2.3					
H84	55	253	29		29										
H85	56	253	28		28										
H86	57	253	27	6.2	33										
		13,596	4,905	6	4,911	751	664	230	72	981	737	6.7	4,174		



## 様式5

鬼怒川環境整備事業(全事業)

## 費用対効果 残事業(残工期+10%)

水系名：利根川

河川名：鬼怒川

(単位:百万円)

年次	t	便益		計 ①+②	費用				費用便益比 B/C	純現在価値 B-C			
		便益①			建設費③		維持管理費④						
		便益	現在価値		費用	現在価値	費用	現在価値					
整備期間	H13	-16											
	H14	-15											
	H15	-14											
	H16	-13											
	H17	-12											
	H18	-11											
	H19	-10											
	H20	-9											
	H21	-8											
	H22	-7											
	H23	-6											
	H24	-5											
	H25	-4											
	H26	-3											
	H27	-2											
	H28	-1											
	H29												
	H30	1			49	47			48.8	46.9			
	H31	2	18	17	17	77	71		76.9	71.1			
	H32	3	47	42	42	199	177		198.6	176.5			
	H33	4	118	101	101	220	188		220.3	188.3			
	H34	5	199	164	164	117	96		116.9	96.1			
	H35	6	243	192	192	4	3		4.1	3.2			
	H36	7	245	186	186	5	4		5.2	4.0			
	H37	8	247	180	180	12	9		12.2	8.9			
施設完成後の評価期間	H38	9	253	177	177								
	H39	10	253	171	171								
	H40	11	253	164	164		0.4	0.2	0.4	0.2			
	H41	12	253	158	158		5.2	3.2	5.2	3.2			
	H42	13	253	152	152		21.2	12.7	21.2	12.7			
	H43	14	253	146	146		19.2	11.1	19.2	11.1			
	H44	15	253	140	140								
	H45	16	253	135	135								
	H46	17	253	130	130								
	H47	18	253	125	125								
	H48	19	253	120	120								
	H49	20	253	115	115								
	H50	21	253	111	111		0.4	0.2	0.4	0.2			
	H51	22	253	107	107		5.2	2.2	5.2	2.2			
	H52	23	253	102	102		21.2	8.6	21.2	8.6			
	H53	24	253	99	99		19.2	7.5	19.2	7.5			
	H54	25	253	95	95								
	H55	26	253	91	91								
	H56	27	253	88	88								
	H57	28	253	84	84								
	H58	29	253	81	81								
	H59	30	253	78	78								
	H60	31	253	75	75		0.4	0.1	0.4	0.1			
	H61	32	253	72	72		5.2	1.5	5.2	1.5			
	H62	33	253	69	69		21.2	5.8	21.2	5.8			
	H63	34	253	67	67		19.2	5.1	19.2	5.1			
	H64	35	253	64	64								
	H65	36	253	62	62								
	H66	37	253	59	59								
	H67	38	253	57	57								
	H68	39	253	55	55								
	H69	40	253	53	53								
	H70	41	253	51	51		0.4	0.1	0.4	0.1			
	H71	42	253	49	49		5.2	1.0	5.2	1.0			
	H72	43	253	47	47		21.2	3.9	21.2	3.9			
	H73	44	253	45	45		19.2	3.4	19.2	3.4			
	H74	45	253	43	43								
	H75	46	253	42	42								
	H76	47	253	40	40								
	H77	48	253	38	38								
	H78	49	253	37	37								
	H79	50	253	36	36								
	H80	51	253	34	34		0.4	0.1	0.4	0.1			
	H81	52	253	33	33		5.2	0.7	5.2	0.7			
	H82	53	253	32	32		21.2	2.7	21.2	2.7			
	H83	54	253	30	30		19.2	2.3	19.2	2.3			
	H84	55	253	29	29								
	H85	56	253	28	28								
	H86	57	253	27	27								
	H87	58	253	26	31								
			13,748	4,847	5	4,852	683	595	230	72			
										913			
										667			
										7.3			
										4,185			





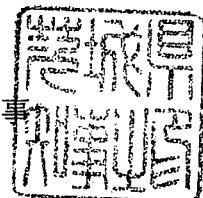




監 第 687 号  
平成29年11月22日

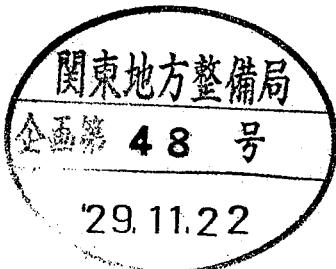
国土交通省 関東地方整備局長 殿

茨 城 県 知



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に  
係る意見照会について（回答）

平成29年11月8日付け国関整企画第135号により依頼がありましたことにつきまして、別紙のとおり回答いたします。



## 【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	茨城県知事の意見
利根川・江戸川直轄河川改修事業	継続	<p>利根川では、平成29年7月に新たな洪水浸水想定区域図が指定公表されたところであり、ひとたび洪水が発生すれば甚大な被害が発生することが想定されます。つきましては、沿川の安全・安心を確保する河川整備の早期完成を図るため、本事業の継続を希望します。</p> <p>また、コスト縮減の徹底を強く求めるとともに、地元の意見に配慮しながら事業を進めていただくようお願いします。</p>
利根川・江戸川直轄河川改修事業(稻戸井調節池)	継続	<p>利根川下流部の沿川には、取手市、守谷市をはじめ多くの都市が含まれております、ひとたび洪水が発生すれば甚大な被害が発生することが想定されます。つきましては、沿川の安全・安心を確保する稻戸井調節池の早期完成を図るため、本事業の継続を希望します。</p> <p>また、コスト縮減を図るとともに、地元の意見に配慮しながら事業を進めていただくようお願いします。</p>
那珂川総合水系環境整備事業	継続	<p>那珂川では、スポーツ広場等の利用や憩いの場、地域交流の拠点として沿川住民に親しまれており、誰もが安全・安心に利用できる水辺空間の整備が必要であることから、本事業の継続を希望します。</p> <p>また、コスト縮減の徹底を強く求めるとともに、地元の意見に配慮しながら事業を進めていただくようお願いします。</p>
利根川総合水系環境整備事業(小貝川環境整備)	継続	<p>小貝川では、管理用通路や拠点整備により、サイクリングや散策、スポーツ観戦など沿川住民に親しまれており、鬼怒川緊急対策プロジェクトに合わせ、地域と連携した周遊性の向上や誰もが安全・安心に利用できる魅力的な水辺空間の整備の必要性が高まっていることから、本事業の継続を希望します。</p> <p>また、コスト縮減の徹底を強く求めるとともに、地元の意見に配慮しながら事業を進めていただくようお願いします。</p>
利根川総合水系環境整備事業(鬼怒川環境整備)	継続	<p>鬼怒川では、散策やスポーツなど沿川住民に親しまれており、鬼怒川緊急対策プロジェクトに合わせ、地域と連携した周遊性の向上や誰もが安全・安心に利用できる魅力的な水辺空間の整備の必要性が高まっていることから、本事業の継続を希望します。</p> <p>また、コスト縮減の徹底を強く求めるとともに、地元の意見に配慮しながら事業を進めていただくようお願いします。</p>

## 【道路事業】

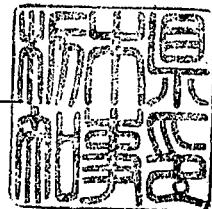
事業名	「対応方針(原案)」 案※	茨城県知事の意見
一般国道6号 牛久土浦バイパス	継続	<p>一般国道6号牛久土浦バイパスは、国道408号、学園西大通り、学園東大通り等の主要な幹線道路と交差するとともに、圏央道つくば牛久ICと接続し、常磐道・圏央道へのアクセス性が向上し、地域の活性化に大きな効果があると期待しています。</p>
一般国道6号 牛久土浦バイパス(Ⅱ期)	継続	<p>また、本バイパスの整備により、現道からの交通の転換が図られ、渋滞緩和及び交通事故の減少が見込まれることから、事業の必要性が高く、継続は妥当と考えます。</p> <p>今後の事業推進に当たっては、徹底したコスト縮減を図るよう、お願いします。</p>
一般国道50号 結城バイパス	継続	<p>一般国道50号結城バイパスは、これまでに延長7.7kmのうち4.9kmが4車線で供用されているものの、残る2.8km区間については暫定2車線となっており、全線4車線化により交通渋滞の緩和や安全性の確保、新4号国道及び北関東道へのアクセス性向上に大きく寄与するものと期待しています。</p>
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(つくば～大栄)	継続	<p>また、新川島橋を含む暫定2車線区間の早期4車線化など事業の必要性が高く、事業を継続することは妥当と考えます。</p> <p>今後の事業推進に当たっては、徹底したコスト縮減を図るよう、お願いします。</p>

\*貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

技管 第248号  
平成29年11月17日

国土交通省 関東地方整備局長様

栃木県知事 福田 富一



関東地方整備局事業評価監視委員会に諸る対応方針(原案)の作成に係る  
意見照会について(回答)

平成29年11月8日付け国関整企画第135号で照会がありましたことについて、  
別紙のとおり、回答いたします。



(再評価)

(回答様式)

## 【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	栃木県知事の意見
利根川・江戸川直轄河川改修事業	継続	<p>利根川・江戸川は、本県を流下していないが、小山市をはじめ、県南部の一部が利根川の洪水浸水想定区域に含まれており、関係市町の安全・安心を確保する上で、さらなる河川事業の促進を図る必要があることから、本事業の継続を要望する。</p> <p>また、整備計画に記載のある本県を流下する思川や巴波川の堤防整備、思川開発事業についても治水安全度の向上等の観点から早急にダム本体工事に着手していただくようお願いする。</p>
利根川総合水系環境整備事業(鬼怒川環境整備)	継続	<p>本県中央部から南部を流れる鬼怒川は、県都宇都宮市をはじめ沿川市街地にとって貴重な水辺空間となっている。</p> <p>これまで実施していた鬼怒川の自然環境整備が完了し、モニタリング調査結果、自然の再生が確認されている。</p> <p>引き続き、良好な自然環境が図られるよう適切な維持管理をお願いする。</p>
利根川水系直轄砂防事業(渡良瀬川)	継続	<p>直轄砂防事業(渡良瀬川流域)は、県民の安全安心を確保する上で必要な事業であり、引き続き継続するようお願いする。</p> <p>特に要配慮者利用施設等の保全については、本県においても重点施策としており、事業効果の早期発現に努められるとともに、コスト縮減策にも積極的に取り組み、効率的、効果的な事業の執行をお願いする。</p>

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	栃木県知事の意見
一般国道4号 矢板拡幅	継続	<p>一般国道4号は、本県の発展を支える重要な広域幹線道路であり、これまで機能強化や渋滞対策を要望してきた。</p> <p>つきましては、矢板拡幅の早期完成に向け事業を継続していただくようお願いする。</p> <p>なお、事業の推進にあたっては、引き続きコスト縮減に努めていただくようお願いする。</p>

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。